2025 年 5 月 21 日発行

富山県感染症発生動向速報

（2025 年第 20 週分・5 月 12 日～5 月 18 日）

■今週の主な動向

〇百日咳が今週 28 例（2025 年累積 190 例）報告されました。

10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう（第 18 週インフォメーション参照）。

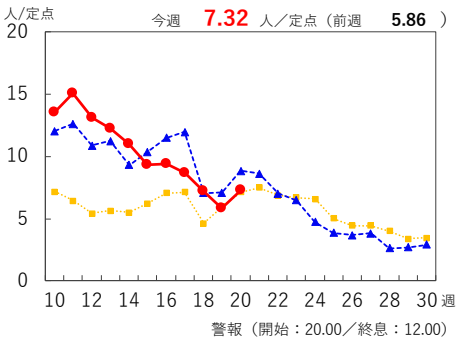
〇伝染性紅斑の報告数が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数は先週（2.07 人/定点）より大幅に増加し、4.57 人/定点となりました。第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超える状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので、注意が必要です（第 17 週インフォメーション参照）。

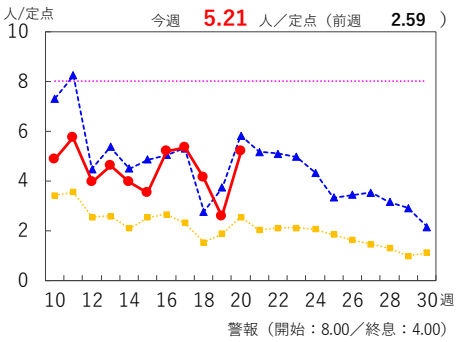
■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患＋急性呼吸器感染症　（第 20 週・5/12～5/18）

1 位：　感染性胃腸炎

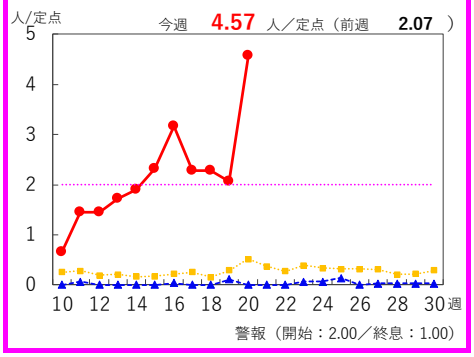


2 位：　A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

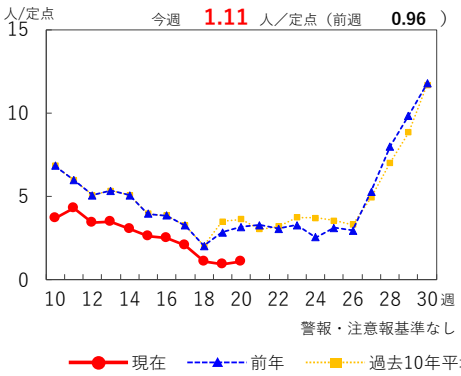


警報

3 位：　伝染性紅斑

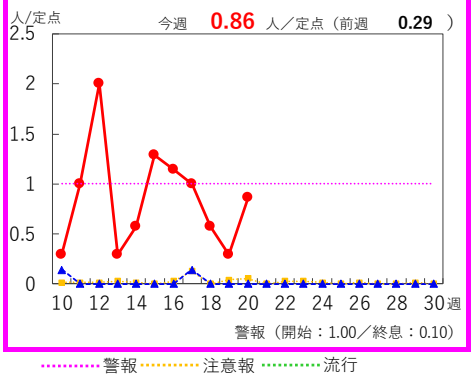


4 位：　COVID-19

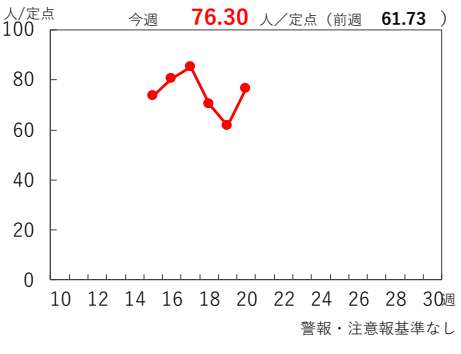


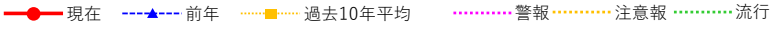
警報

5 位：　急性出血性結膜炎



急性呼吸器感染症





厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1

■全数報告の感染症

二類感染症　結核　3 件（①10 歳未満、女性　②60 歳代、女性　③80 歳代、男性）

五類感染症　梅毒　1 件（第 19 週診断分：30 歳代、男性、早期顕症梅毒 II 期）

百日咳　３５件（①第 17 週診断分：10 歳代、女性　②第 19 週診断分：10 歳未満、女性　③～⑤全て第 19 週診断分：10 歳代、男性　⑥⑦共に第 19 週診断分：30 歳代、女性　⑧～⑬全て 10 歳未満、男性　⑭10 歳未満、女性　⑮～㉑全て 10 歳代、男性　㉒～㉛全て 10 歳代、女性　㉜40 歳代、女性　㉝60 歳代、男性　㉞70 歳代、男性　㉟70 歳代、女性）

富山県

富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/

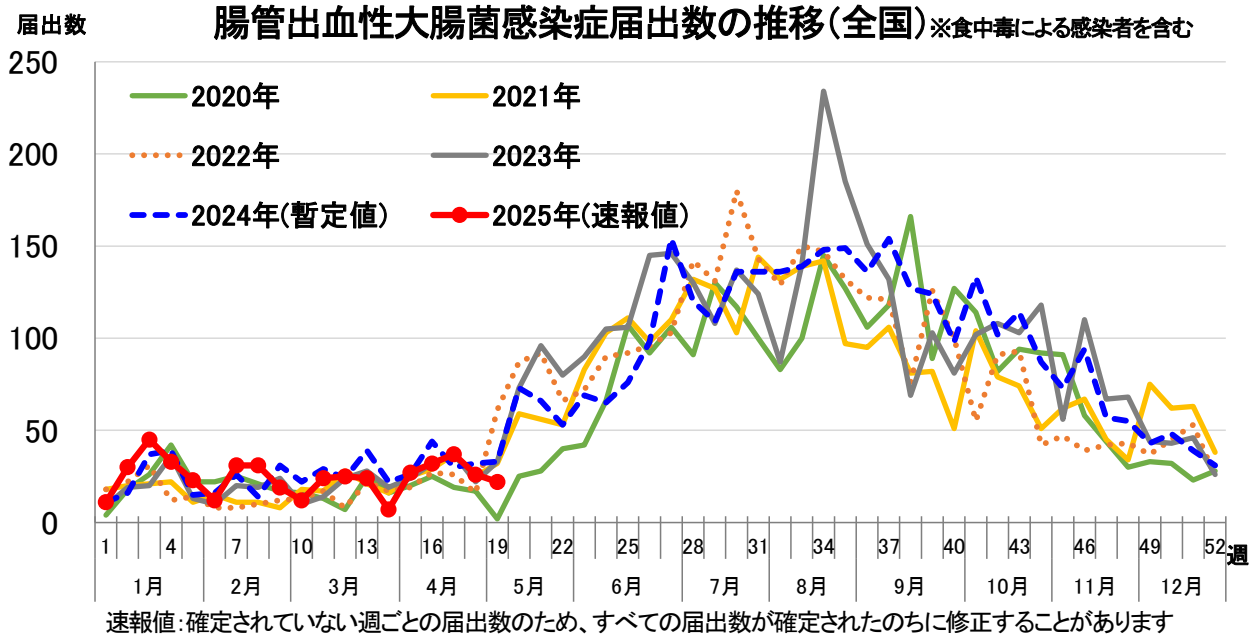
2025 年 5 月 21 日発行
富山県感染症発生動向速報（2025 年第 20 週分・5 月 12 日～5 月 18 日）

これからの季節は特に注意！
腸管出血性大腸菌感染症

《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症は、ベロ毒素（VT）を産生、またはVT遺伝子を保有するEHECを原因とする感染症です。全国では無症状病原体保有者を含むEHEC感染例が毎年3,000～3,900件報告されており、夏季に流行のピークがみられます(図参照)。2025年は5月21日現在、県内で2人のEHEC感染症症例が報告されています。



速報値:確定されていない週ごとの届出数のため、すべての届出数が確定されたのちに修正することがあります

EHECは牛などの反芻動物に保菌されていることが多く、これら動物の糞便を介し肉類やその他の食品、井戸水などを汚染します。汚染された食品を加熱不十分な状態や生のまま喫食すると、3～5日経過後に腹痛、水様性の下痢や血便、さらに一部の患者では嘔吐や発熱などの症状を呈します。溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症など重篤な合併症を併発し、死亡する症例もあります。小児や妊婦、高齢者については重症化しやすいため、特に注意が必要です。

感染予防には、生肉や加熱が不十分な肉の喫食を避けること、調理する際の生肉の取り扱いに注意することが重要です。気温・湿度が上昇し細菌が増殖しやすい環境となるこれからの時期は、下記のことに留意して感染予防に努めましょう。

① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱（中心部の温度が75℃で1分以上）してから食べる
③ まな板などの調理器具は、「肉用・魚用」と「野菜用」で使い分ける
④ 食材は調理までの間、低温（10℃以下）で保存する

富山県
富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）
TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/

○感染症発生動向調査報告状況（2025年第20週 2025年5月12日～2025年5月18日）

分類		疾患	今週報告分（第20週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核					3	3	5	1	6	4	26	42
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					2	2	4		3	4	15	26
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2
	四類感染症	Ｅ型肝炎									2			2
		Ａ型肝炎								1	1			2
		デング熱									1			1
		レジオネラ症								1	2		1	4
	五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									3		5	8
		急性脳炎									1			1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		1		4	6
		後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症							5		5	3	9	22
		水痘（入院例）									1			1
		梅毒							1	1	2		9	13
		百日咳		5	4	1	18	28	11	23	38	9	109	190
		風しん										1		1
定点把握（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症 （※1）	339	356	1,137	308	1,446	3,586	2,101	1,983	6,953	1,535	8,738	21,310
			48.43	71.20	87.46	44.00	96.40	76.30						
		インフルエンザ	7				13	20	923	847	1,643	973	1,858	6,244
			1.00				0.87	0.43						
		COVID-19	17	1	6	16	12	52	800	328	896	617	775	3,416
			2.43	0.20	0.46	2.29	0.80	1.11						
	小児科定点（28定点）	ＲＳウイルス感染症	1		2		2	5	22	22	105	37	152	338
			0.25		0.25		0.22	0.18						
		咽頭結膜熱	2	3	13		2	20	52	20	156	2	46	276
			0.50	1.00	1.63		0.22	0.71						
		Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	11	57	8	65	146	78	179	894	113	1,212	2,476
			1.25	3.67	7.13	2.00	7.22	5.21						
		感染性胃腸炎	20	20	55	18	92	205	530	449	1,108	373	2,806	5,266
			5.00	6.67	6.88	4.50	10.22	7.32						
		水痘		6		3	12	21	2	15	23	11	120	171
				2.00		0.75	1.33	0.75						
		手足口病							1	1	10	1	1	14
		伝染性紅斑	5	18	38	10	57	128	38	103	327	21	344	833
			1.25	6.00	4.75	2.50	6.33	4.57						
		突発性発しん			6		3	9	3	8	44	13	39	107
					0.75		0.33	0.32						
		ヘルパンギーナ	1					1	16	1	1	1	1	20
			0.25					0.04						
		流行性耳下腺炎				2	2	4	1	4	5	3	11	24
						0.50	0.22	0.14						
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				6		6			4	74		78
						6.00		0.86						
		流行性角結膜炎							1		15	1	1	18
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎	1	1				2	13	5	16	15	4	53
			1.00	1.00				0.40						
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1			1			5			5
					1.00			0.20						
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242
		COVID-19 による入院患者					16	16	73	68	51	110	179	481

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/ ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

2025年5月21日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8143 ウイルス部)

インフルエンザ定点における患者診断状況

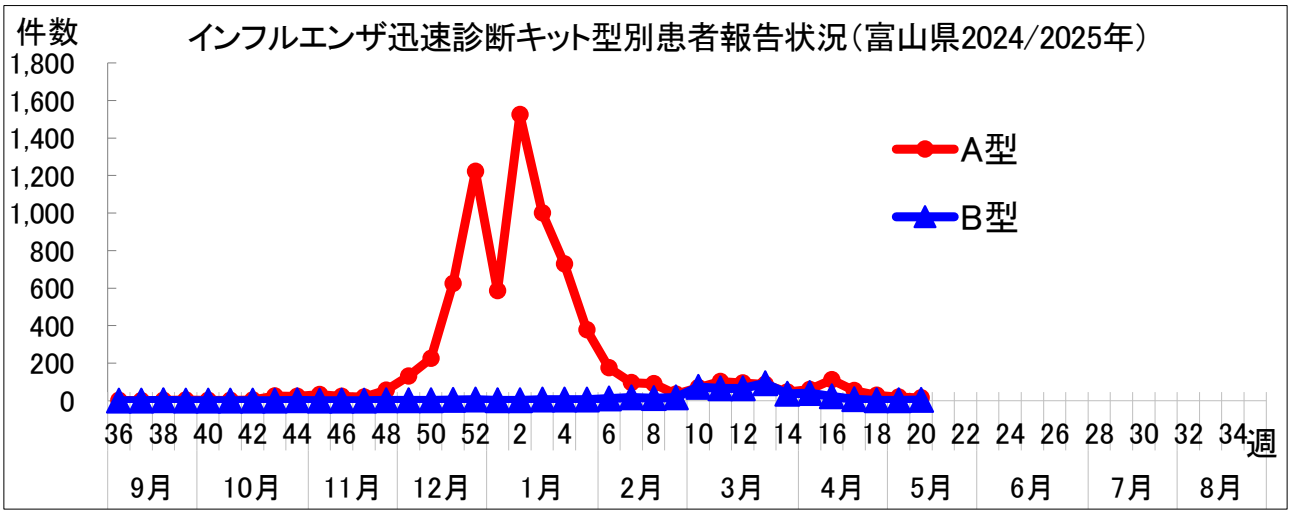
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が80.0%、B型が15.0%となっています。

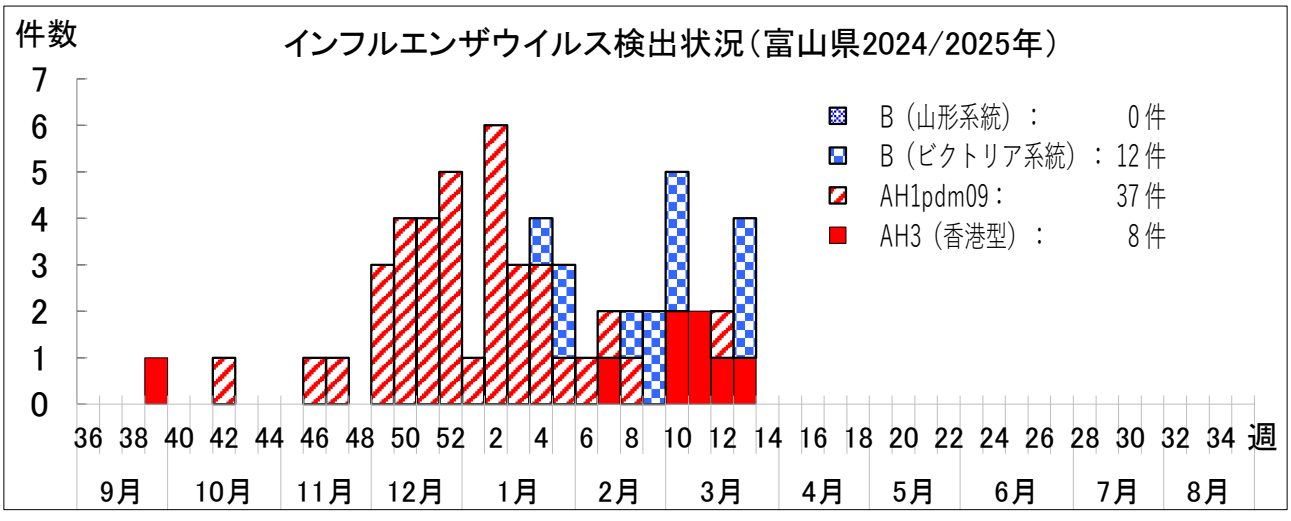
第20週(5/12～5/18)：富山県　0.43人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	4 /7	6	0	1	7
中部	0 /5	0	0	0	0
高岡	0 /13	0	0	0	0
砺波	0 /7	0	0	0	0
富山市	7 /15	10	3	0	13
富山県	11 /47※1	16	3	1	20
富山県累計(2024年36週～)		7,697	504	557	8,758

※1　47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が11か所あったことを示します。
※2「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





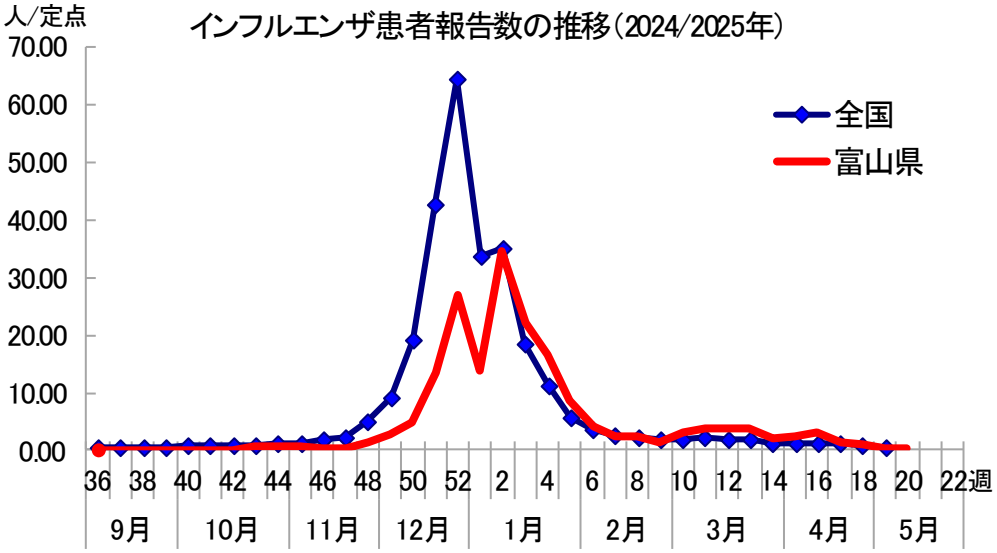
インフルエンザ情報

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 20 週（5/12～5/18）：富山県　0.43 人/定点

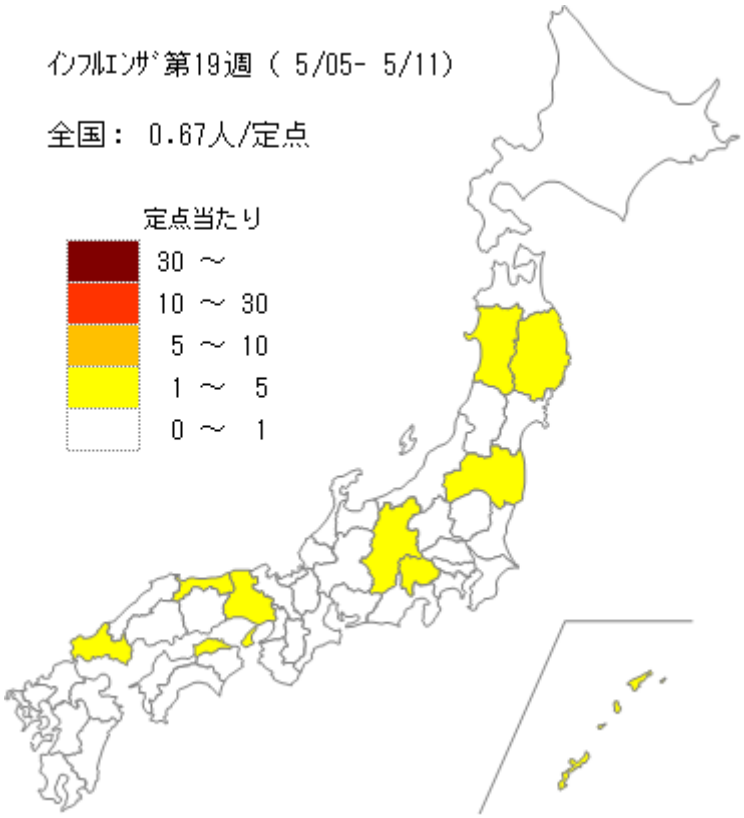
新川 HC（1.00）、中部 HC（0.00）、高岡 HC（0.00）、砺波 HC（0.00）、富山市 HC（0.87）

県内の患者報告数は、第 20 週に 0.43 人/定点となり、前週（0.50）から減少しました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況　第 19 週（5/5～5/11）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.67 人となり、前週の 0.79 人より減少しました。
14 府県で前週より増加しています。32 都道府県で前週より減少しています。



都道府県	人/定点		都道府県	人/定点	
北海道	0.27	↓	滋賀県	0.55	↓
青森県	0.94	↓	京都府	0.89	↑
岩手県	1.81	↓	大阪府	0.55	↓
宮城県	0.54	↓	兵庫県	1.01	↓
秋田県	2.28	↓	奈良県	0.68	↓
山形県	0.36	↓	和歌山県	0.18	↓
福島県	1.98	↓	鳥取県	1.10	↓
茨城県	0.50	↑	島根県	0.20	↑
栃木県	0.21	↓	岡山県	0.70	↓
群馬県	0.22	↓	広島県	0.94	↑
埼玉県	0.57	↓	山口県	1.44	↓
千葉県	0.43	↓	徳島県	0.26	↓
東京都	0.44	↓	香川県	1.35	↓
神奈川県	0.53	↓	愛媛県	0.66	↓
新潟県	0.73	↓	高知県	0.74	↑
富山県	0.50	↓	福岡県	0.98	↑
石川県	0.21	→	佐賀県	0.96	↓
福井県	0.49	↑	長崎県	0.22	↓
山梨県	1.34	↑	熊本県	0.37	↑
長野県	1.51	↓	大分県	0.64	↑
岐阜県	0.78	↓	宮崎県	0.25	↓
静岡県	0.27	↑	鹿児島県	0.84	↑
愛知県	0.33	↓	沖縄県	3.60	↑
三重県	0.44	↑	**全国**	**0.67**	↓

今週をもちまして、今シーズンのインフルエンザ情報の報告を終了いたします。